

令和8年1月教育委員会定例会会議録

令和8年1月29日 開催

富谷市教育委員会

令和8年1月 富谷市教育委員会定例会

日 時 令和8年1月29日（木）午前10時～

場 所 富谷市役所305会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 開会の挨拶
- 3 前回会議録の承認
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 教育長報告
- 6 議 事
議案第1号 富谷市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について。
- 7 一般報告
- 8 事務連絡
- 9 閉会の挨拶
- 10 閉 会

令和8年1月 富谷市教育委員会定例会会議録

1. 日 時

○令和8年1月29日（木）午前10時開会

2. 場 所

○富谷市役所305会議室

3. 出席委員

○教 育 長	二階堂 浩一郎
○教育長職務代理者	江 刺 義 夫
○委 員	増 田 恵美子
○委 員	武 田 泉
○委 員	新 海 あゆみ

4. 説明のため出席した者

○教育部長	高 橋 理 香
○教育総務課長	菅 原 俊 司
○学校教育課長兼学校給食センター所長	今 野 善 徳
○学校教育課参事兼指導主事	島 貫 愛
○生涯学習課長	小 嶋 雄 悦

5. 傍聴人 な し

6. 開 会

【教育部長】

ただいまから令和8年1月教育委員会定例会を開催します。

開会の挨拶を二階堂教育長が申し上げます。

【教育長】

改めまして、おはようございます。

外は冬晴れとなってまいりましたけれども、居座り寒波という新しい用語が登場するくらい長く寒い日が続いております。

本日は定例の教育委員会にご出席いただきましてありがとうございます。

さて年明け、学校が再開されまして、3週間ばかりが経過いたしました。本日は私立高校入試のA日程の日でございます。B日程は2月2日の月曜日ということです。中学3年生にとっては人生を左右する大切な1ヶ月に入っております。

目下の心配事はインフルエンザでございます。今日現在で、3校11教室で学級閉鎖の措置をとっております。長期予報によればまだまだ寒い日が続くとのことございます。教育委員の皆様におかれましても、どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

本日も議案が1件ございます。また、この後、総合教育会議もこの部屋で予定されておりますのでよろしくお願いいたします。

7. 前回会議録の承認

【教育長】

前回の会議録の承認を求めたところ異議なく、増田委員と新海委員が署名を行った。

8. 本日の会議録署名委員の指名

【教育長】

本日会議録署名委員に江刺委員と増田委員を指名した。

9. 教育長報告

【教育長】

続きまして教育長報告に入ります。

お手元の報告資料を使って報告をさせていただきます。

12月でございます。12月26日、仕事納めの挨拶、そして1月5日には仕事始めの挨拶ということで、教育委員会関係、公民館等も含めた施設を回って、挨拶をさせていただきました。ここでお話した内容は、なんと言っても健康の話です。先ほど話したこともございますので、とにかく自分の健康は自分で守るのと合わせて、周りにも気配りして、おかしいなと思ったら声をかけ合おうというようなお話をさせていただきました。

1月7日、富谷市新年祝賀会がスポーツセンターで開催されました。550名というこれまでに最大規模の参加人数となりました。委員の皆さまにも御出席をいただきましてありがとうございます。

1月11日、富谷市二十歳を祝う会がスポーツセンターで開催されました。対象となる若者たち666名中、545名の出席ということで、出席率は81.8%ということでございます。本当に高い数字で驚きましたけれども、いろいろ考えてみますと、この高い数字の背景の一つとして、子ども時代や中学校でとても楽しい思い出があったり、子どもたち同士で達成感のある取り組みができていたりという学校生活があったからなのだろうと思っております。当日は、当時の学年主任の先生方に御出席いただくサプライズなどもありましたけれども、大変皆笑顔の輝く一日となりました。広報とみや2月号の表紙は、二十歳を祝う会の一コマが、表紙に使われておりますので、ぜひ御家庭に配布された折には御確認いただければと思います。

1月16日、第9回目となります学校部活動等地域展開検討協議会が開催されました。学校部活動の地域展開につきましては、広報とみや12月号に新たなロードマップが示されております。このロードマップ自体も、前回のこの協議会で御意見をいただきながら確定したものでございますけれども、これを実際に現場でどのようにしていくかという感じになりますとまた課題が出てきて、より進めば進むほど課題が具体的に見えてくるようになります。活動場所の問題ですとか、指導者の問題、受け皿をどうやってこれから確保していくか、あるいはどういう受け皿があるか。子どもや保護者への見せ方、この辺りを整理しながら進めていかなければならない段階に入っております。

1月17日は第10回ユートミヤパートナーズミーティングが開催されました。今回が最終回ということでございます。以前にも御紹介をさせていただきましたが、このユートミヤパートナーズ、愛称はユートミーということでございまして、現在75名ほどの参加者がいます。この日は、そのうちの30名ぐらいの方々がお集まりになりまして、6つに分かれてお話し合いをしていただきました。もう既に、具体的にスタンプラリーをどうするかであるとか、ノベルティーをどうしようかとか、こんなアイデアでどうだろうか、実際作ってみようとかですね、メーカースペースという3

Dプリンターを置くスペースがあるのですが、このコーナーではどのような企画を立ち上げていったらいいのかなど、非常に具体的なお話合いです。先ほど、最終回とお話したのですが、この続きについては、お互いに LINE 等で連絡を取り合いながら、ユートミヤの開館が5月1日でありますので、その日に向けてさらに進めていくということでした。

教育長報告は以上です。

【教育長】

ただ今の報告に御質問等はございますでしょうか。

【全委員】

(質疑なし)

【教育長】

それでは続いて議事に入ってまいりたいと思います。本日は議事1件ございます。

10. 議 事

【教育長】

日程第6、議事に入らせていただきます。

議案第1号 富谷市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について。私の方から御説明をさせていただきます。

【教育長】

議案第1号 富谷市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について。(資料、別紙資料に基づき説明)

提案理由としましては、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給料等に関する特別措置法等の一部が改正され、令和8年4月1日に施行されることに伴いまして、教育職員の業務量、健康確保の適切な管理を行う調査計画を作成する必要があるために今回の御提案となります。

では、実際にこの計画内容を御説明させていただきたいと思います。

別紙資料の『すべての子供たちにとって魅力ある学校をつくるために』を御覧ください。令和8年1月富谷市教育委員会としてお認めいただければと思います。

1枚目、はじめにというところで、この計画の趣旨を書かせていただきました。特に第2段落、学校における働き方改革という言葉が出てきて随分経つのですが、やはりこの目的をしっかりと確認するところから始めたいと考えました。働きやすさと働きがいと両立し、子供たちによりよい教育を行うことが、この学校における働き方改革の目的であるということです。これを確認して、ここからどのような具体的な方法を考えるかというふうにしていきたいと考えました。

では、1ページに進んでいただきたいと思います。本市の現状でございます。

令和元年7月に富谷市立学校における学校の働き方改革に関する取り組み方針を策定済みでございます。こうした流れの中で、今、本市で実際どの程度、例えば学校に時間外で留まっている仕事をされている方がどの程度いるのかを把握した結果、令和6年度の結果が中程の表でございます。小学校で29時間程度、中学校で月38時間程度と押さえています。割合といたしましては右側にありますように、小学校で12.3%の先生が、中学校で39.0%、また、月80時間を上回る割合というのは、やはり数名いらっしゃるという現状でございます。これは実際問題、他の自治体と比べてどうなのかというあたり気になるころだと思っております。昨日同様の計画を立ててい

る自治体を、いくつかネットで確認をしてみたのですけれども、割合としましては、どこも富谷市より多い現状にあるようでございます。そういった意味では、これまでの流れとして、本市では、ある程度の効果を上げながら、ここまで働き方改革については推移してきていると捉えているところですが、ただ問題意識としては、その下のところにも書かせていただいたように、まだまだやれる要素があるというようなところを書かせていただいております。

やはり物事を取り組むときには目標が必要だということで、1ページの一番下の方に目標が書かれております。まず時間外在校等時間に関する目標といたしましては、1ヶ月時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%にする。そして、1年間における1ヶ月時間外在校等時間の平均を25時間程度としたいと考えます。これが多いというか、少ないと言うのかということもございますけれども、最初の計画でございまして、まず45時間以下というところにこだわってみました。また、25時間程度と考えますとひと月大体20日前後ということを考えて、1日1時間、学校で残務整理等をしたとすれば、少し上回る程度のところで収めてみてはどうかというような、そういったイメージでございまして、2ページの方にうつります。時間外在校等時間が限りなくゼロに近づくのが望ましいということは、今後、市教育委員会として機会をとらえて啓発を行ってまいりたいと思っております。

二つ目の目標の視点といたしましては、ワークライフバランスや精神的健康等に関する目標を踏まえまして、年間の年次有給休暇の平均取得日数を18日以上にしたいと。現在は15日でございまして、ストレスチェックにおける高ストレス者の割合を6パーセントまで減少させて、現在12%という数字がございまして、また、三つ目の視点といたしましては、幸せに働ける職場づくりアンケートというものを行ってまいりますが、これを使いまして、大体40ぐらいの質問がありますがその中から3つほど選びました。教職員として満足いく時間を過ごせたいとする割合を80%以上になりたいと思っております。現在、当てはまる、ほぼ当てはまるも含めて66.8%でございまして、仕事を通じて成長できているとする割合を85%以上になりたいと思っております。現在73.8%でございまして、そして、退勤時間を決め、仕事をしているとする割合を75%以上になりたいと思っております。現在55.2%でございまして、

以上の目標を掲げ、これから計画期間として4年間を設定しまして、取り組んでまいりたいと思っております。

以下、大きな3番の下には、それぞれ4年間でどのような流れで減らしていく予定なのか、取り組みの進み具合等、いろいろ確認しながらやってくために、その時々数字を落とし込んだところでございまして、今回この計画というのは、教育委員会にも、今後、進捗状況報告をさせていただきますとともに、ホームページ等にもその情報を公開するというのが、義務付けられております。また、この後予定されております総合教育会議の中でも、進捗状況を報告するようということで、義務付けられているものでございまして、今後、この目標に従って取り組んでまいりたいと思っております。そして取り組んでいくと言った時に、具体的にどのようなことをといったところが大きな4番、3ページの中程でございまして、こちらの部分になっております。この処理でございまして、学校と教師の業務の3分類を参考にした業務の見直しとしてございまして、この3分類につきましては、8ページを御覧いただきたいと思っております。これは文部科学省から示されている学校と教師の業務の3分類、学校以外が担うべき業務、教師以外が積極的に参画すべき業務、教師以外の業務だが負担軽減を促進すべき業務というような、3分類をそれぞれ下に、全部で19に分類されております。この19の分類それぞれにつきまして、先ほど3ページにお戻りいただきたいのですが、例えば、学校以外が担うべき業務の案として、登下校時の通学路における日常的な見守り活動等、(「3分類」1関係)のカッコ内のところが、先ほどの資料と対象関係

にございます。このようにして、見ていただければありがたいです。一つ一つについて具体的にここで説明することは大変時間も要しますので、お話はいたしませんけれども、富谷市が今取り組んでいること、取り組もうとしていることを可能な限り盛り込んでいます。結果、19の項目すべてを入れることができました。ただ、これは現時点での話でありまして、来年になったらまた更にこういうこともできるのではないかとか、あるいはこれはもう達成したからもういいというような話は当然出てくると思いますので、基本的にこの計画の4番以降は、いろいろ履歴も残しながら進んでいく必要があるかと考えおります。では、資料6ページを御覧ください。この部分がどちらかというところと教育委員会で13校すべてにとという形で、取り組みを進めていくものだとすれば、(2)と中頃にございますけれども、学校における措置の推進、こちらは、どちらかというところと学校が主体的に読み解きながら自分たちでやっていく部分ということになります。学校の主体性っていうのも、この働き方改革は非常に大切ですので、今後この辺りもできることから始めていきたいなと思っておりますのでございます。

7ページを御覧ください。7ページ(3)教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組ということで、この辺りも、やはり健康あつてのという仕事でもございます。このあたりも、今のところ5点示させていただいておりますけれども、ここもさらに情報を集めながら取り組んでまいります。最後5番目としまして、関連する取組及び今後のフォローアップについてということで、先ほどお話しておりますように、取組みの着実な実行を図るため、本計画の進捗状況を毎年度、定例の教育委員会及び総合教育会議で報告するというところで、想定をしております。

以上、かいつまんで内容について御説明をさせていただきました。この計画をしっかり推進しながら、先生方の気持ちに潤いがあり、より仕事にやりがいを持てる、その結果、魅力ある学校ができ、子ども達が笑顔で過ごせる学校になること。これがやはり思い描く理想なのかと思っております。

皆様からも忌憚ない御意見を頂戴できればと思っております。

【教育長】

ただいま、議案第1号、富谷市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について。このことについて質問ございましたらお願いいたします。

【江刺委員】

ここでは、教員の経験があるのは新海さんと私だけなのですが、具体的に言いますと、テストをやった時に採点がどうしても間に合わないとなった時は、家に持ち帰ってすることがありました。計画で早く帰るとなれば、当然家に持ち帰ってやらざるを得ないところがあるという、そういったところの時間的なものが、逆に増えるような感じもしないでもないように思います。学校にいますと、パソコンやコピー、印刷機が使えるから、学校にいて仕事をやった方が都合のいいという場合もあるわけですが、そういったところが一律に、今5時半、5時ですか。今まで6時ぐらいが当たり前だったのが、そこで1時間という枠の中で、どこまでできるのか。それが先生方の教材研究だとか、それからテストのペーパーレス、別なITで解答するというようなこともあると思いますが、そのあたりが過渡期で、どう持っていけるかというのがちょっと心配な部分があります。

それから当然、スクールガードリーダー、交通指導もありますけど、秋と春の交通安全運動に先生方が立って街頭指導しますが、そういったことも今後はなくなるのかということですか。そういったところを省略していくのかということもちょっと気に

なったところもあります。そのあたりはどうでしょうか。

【教育長】

はい。ありがとうございます。

採点等の持ち帰りというのは、私も現場にいた時に身に覚えがございますけども、今はかなり個人情報のことが大きくありますので、持ち帰るっていう事はほとんどないと聞いております。今の学習指導の流れからすると、形成的評価と言いまして指導したことはすぐ確認して、間をおかずに指導し直すっていうのが、トレンドになってきています。やはりそのあたりを徹底していただくことに尽きるのかなと思います。そうなってくると、ペーパーだけに頼る、テストで評価するというのは限界があるので、多様な評価を組み合わせて、文科省も言っていますけども、ここをやはり教育委員会としては強く主導していく必要があると思っています。

また、スクールガードリーダーさんにも一生懸命やっていたいて、街頭指導の季節になると確かに先生方も街頭に立っていただいています。とてもありがたいですけども、これについてもやはり見直しをしていく時期に入っているのかなと思っています。私は別な自治体で校長をしておりましたけれども、交通安全指導には立たせませんでした。やはり理由はこの中に書いてあるとおりです。ただ、地域からの情報というのはしっかり受けとめさせていただきますし、当然、出勤時に子どもたちの様子については先生方、周りをよく見ながらできているということで、その季節に合わせて子どもたちを教室でしっかり指導するっていうところは外させないようやっていました。そのあたりも、各学校の校長先生方と話し合いながら進めていければと思っています。あと、先ほど懸念されていた持ち帰りが増えたという事になるのは、本末転倒であるという点は、十分にこちらも承知しておりました。このあたりも留意して進めてまいりたいと思います。

【江刺委員】

わかりました。ありがとうございます。

【教育長】

他にございませんでしょうか。

【増田委員】

はじめにと書かれてあるところがやっぱりとても大事ななと思って読ませていただきました。この働きやすさと働きがいというコンセプトをしっかりと学校側の先生方が、この意味を理解した上でこれをもとに実践していただきたいなと思いました。それから今、見守りという話が出ましたけれども、私、月1回カフェをやっています。御年配の方で楽しみにしてくれている方がいるのですが、ある一定の時間になると立ち上がって、急いで出て行かれるんです。いつもこの時間になんで出ていくのだろうと思っていたら、子どもたちの下校の時間だからということで、見守りをしてくださっていたのです。本当に頭が下がり、とてもありがたいなと思っていました。多分そういう方々は学校の校長先生が理解してくださって、感謝の言葉をかけてくださるだけで、そういう思いを持っている人は十分だと思うのです。そういうところを、学校のトップの方がどれだけ把握しているか、お声掛けをしていただけているのか、心にかけていただけているのかということも、これを進めていく上で心のコミュニケーションというのが大事になっていくのかと思いました。以上です。

【教育長】

働きやすさと働きがいについてですが、これはもうどっちかを求める、あるいはバランスという話ではなくて両方求めなくてはいけないので、そういうところをしっかりと理解することが大切だと思っています。ここは十分注意して働きかけをしてまいります。また安全の見守りについては、たくさんの方々ですね、交通安全の季節に私なども街頭に行かせていただくのですが、こんなにも多くの、特に私より年齢が上の方が立っていただいているということに驚きました。学校によりましては小学校などで、そういった見守りをしてくださっている方を招待して、感謝の会を開いている学校もあるようです。そういうところは本当に、子どもたちの心を育てるという意味でも、学校の方では大切な機会として捉えていますので、校長先生方にもこのような事例を紹介しながら取り組んでまいります。

【新海委員】

まず、先生方のこういう環境について、市教委の方々や管理職の方が考えてくださるってということが、先生方たちにとってはすごくありがたいというか、心強いことだなということを感じています。さらに、保護者とか地域の皆さんが、先生方の働く環境についての理解を示してくださることが先生方にとってはとてもありがたいことだということを感じました。

あとは、私も教員時代に、私たちの仕事はすごく切りがないというか、どこまでやれば終わりということがなくて、例えば、授業の準備もきりがなく、テストの採点、それとすごく時間を必要とするのが作文の添削でとても膨大な時間がかかります。私にとってはすごく時間が必要でした。あと学級だよりも別に全然出さなくてもいいのですが、私は週1回出すのがずっと初任からの習慣になっていて、それで子どもたちと保護者の方と繋がっていたという感覚があり、別に全然やらなくてもいいのだけれども、それに時間をかけてしまうと、その辺をいかに自分で割り切れるというか、どうしてもそういう仕事は家でやっていたので、それが先生方にとっても、ここまでという区切りをつけるのがすごく難しいところだなってということを感じています。ただ、すごく必要だなと思ったのは、帰宅の時刻を決めるってというのは、今考えると、もっとそうしていれば、早く帰れてもう少し余裕がある生活ができたのかなと思います。週1回でもいいからここまで必ず帰るといふうに決めるともっといいのかなということを感じました。

あとは、現場にいてどうしても仕方はないのだけれども、一人一人の校務分掌に偏りがあるというか、どうしてもたくさん仕事がある先生方がいらして、見ていても大変だろうなって思いましたし、自分がそうだった時もありましたが、その辺をできるだけ平等にというのは難しいのですけれども、校務分掌の偏りをなくするのも大事なのかなと思っていましたし、今もそういうふうにあります。

例えば、中学校では、学年主任の方がいらっしゃるって、クラス担任は別の先生たちがいて、その学年主任の方がいろいろな会計をしたり、文書を作ったり、交渉したりという大きな仕事をしていらっしゃると思いますが、どうしても小学校の場合はそうしているところもあるかとは思いますが、クラスの担任がたくさんの仕事を、子どもたちに直接関わる以外でも、せざるを得ない現状なので難しいのですけれども、ここに先生方の人数を増やしていただいて、一人ひとりの負担が軽くなるとすごくありがたいなと感じていました。

【教育長】

おっしゃるとおりで、本当にきりがなく仕事ですよ。また、やっただけ返ってくるのでまたこれがなかなか減らないという難しさがあります。今回、帰宅の時間を決

めるというのも資料一つにさせていただいたのは、よく定時退庁日を決めるっていう取り組みは、これまでも週1回はこの時間に帰りましょと、学校毎に決めているところも多いのですけれども、さらに一歩進めるとすればなんだろうと考えたときに、やっぱり一人ひとりが自分の働く時間をコントロールできるようになる事が、もう一つ進んだ姿かなと思いましたがこれを入れさせていただきました。是非、これがうまく進んで行けばいいなと思いつつ、応援をしてまいりたいと思います。

最後にお話いただいた公務分掌の件も、本当にそのとおりで、こういう言い方はあまりよろしくないかもしれませんが、仕事ができる人のところにいっぱい仕事が回ってしまう。これは教員だけじゃなく、どんなあらゆる職場でもそういうところがあると思うのですが、ここは人数も増やすことですか、あと大きな学校も小さい学校も同じ公務分掌の数ですか、同じようにやろうとする、そういうところもやはり見直していくとか、それだけに校長先生が自分の学校の実情を踏まえてどうするかっていうことを考えることも大事になってくると思うので、そのあたりも働きかけをしてまいりたいと思います。新聞などでは、文部科学省は増やすと書いているので、期待はしつつ、この事業について書いているところではございました。ありがとうございます。

【武田委員】

経験のある先生方のお話を聞きながら聞いておりました。やはり学校の先生方が元気でいらっしゃるという事が、子どもたちにとっても一番いいことだなと感じています。子どもたちは結構敏感で、先生方がちょっと大変そうとか敏感に察知すると思うので、元気な先生方が増えるよう、このような計画があるというのはとてもありがたいなと思って話を聞いておりました。

【江刺委員】

先生方の時間を減らして、そして気持ちよく仕事をしてもらって、自分の健康管理をしっかりするという趣旨で、いろいろな策を練っています。大事なのは、この先生方の働き方改革だけど、そこにいる児童生徒が、授業だけではなく、その先生に対してどれだけの時間に関わることができるのか。それが先生と生徒、御父兄の信頼関係をどういう時間で作れるかという時に、時間だけで切っていくという訳にいかない部分があると思います。その辺のところの配慮を十分にして、御父兄にも先生方の働き方改革のことについては、こういうところはこうやりますよということを十分理解してもらいながら、それでも生徒と保護者との関りを十分行うことについて、こういうことは大事にしたいなという思いはします。

やはり教育は信頼関係が成り立つところで、先生が言うから云々、御父兄が言うから我々先生もこうだというようなことの関係があって初めて成り立つと思います。その辺のところを十分配慮しながら、この計画を進めていただければ更にいいかなという思いがします。

【教育長】

時間だけでサクサクという仕事でもないっていうところを、また1人で対応するっていうのが今はかなりしてはいけないっていうところになってきております。生徒指導などでも複数でお話を聞いたり、或いは学年で対応したりっていう場面も増えてまいりました。そうすると、当然時間もかかるわけですけど、必要な時間は必要な時間、またその分、どこかでという、そういう柔軟なところが大切だなと思っております。

いただいた御意見につきましては、今後、校長会等でこの計画を改めて説明する際に加えながら説明していきたいと思っています。

【教育長】

では、議案第1号 富谷市立学校教育職員に関する業務量管理、健康確保措置実施計画の策定について、御承認いただけますでしょうか。

【全委員】

(異議なし)

【教育長】

それでは承認とします。ありがとうございます。

本日の議事については以上となります。続いて、一般報告に入らせていただきます。

11. 一般報告

【教育長】

それでは日程第7、一般報告に入らせていただきます。

教育総務課より順にお願いします。

【教育総務課】

令和8年2月補正予算について。

富谷市立小中学校卒業式について。

【学校教育課長】

調べる学習コンクール全国審査について。

要保護・準要保護の就学援助の追加認定について。

第2期富谷市教育振興基本計画に係る学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入について。

【教育長】

それではただ今の学校教育課の報告につきましては、よろしいでしょうか。

【新海委員】

具体的にどんな感じの動き、計画となるのでしょうか。

【学校教育課長】

予定される具体的な動きとしましては、これから立ち上げて、それぞれの学校のニーズ、あと地域のニーズで進めていくことにはなろうかと思うのですが、仕組みとしては、今の私の簡単なイメージでいくと、地域・学校・家庭をつなぐ取り組みは、もうエンジンを積んだ車でワープと動いている、ちょっと離れたところのラジコンみたいな感じなのかと思っています。今、学校に少しニーズがあって、じゃあこっちに曲がりますかみたいところでちょっと離れているところを、もうハンドルも入れてしまっ、しっかり一つの車にして、一体的に動いていくような、何かそういう仕組みを作っていくというイメージです。今の動きはエンジンがちょっと離れているので、そこを一本にして、一つのスタイルを構築していこうという、そこがより円滑にスムーズに進めていくという体制を構築しようというイメージですが、これから具体的にどういう形になっていくのか、そこも含めていろいろと御指導いただければと思います。

【新海委員】

ありがとうございます。

【教育長】

学校運営協議会というものを置いた学校のことをコミュニティスクールというようですが、今、課長の話にもありましたけれど、一体としている、その部分で、今つなぐ取り組みが非常に富谷市はしっかり走っている状態であり、そこに実はこのコミュニティスクールというのは、これまでありました学校評議委員っていう制度あります。そちらの方が、この学校運営協議会制度に移行するような感じになります。学校評議員はここからはなくなり、その機能を学校運営協議会の中にも取り込んでいくイメージです。先ほど課長が言ったラジコンの方をコントロールするというような、かなり深く、この委員さんたちが関わってくるそんなイメージなのかと思います。これまでよりも一層、地域とともにある学校というのが実現できるよう計画してまいります。

【江刺委員】

確かに公民館にいくと協議会の実績が貼り出されています。

例えばあまりやってない餅つき大会とか、今まで富谷小学校でやっていたものをコミュニティ協議会の方で土日にやっていただければ、これは大変いいことだなと思いました。その時に、学校の時間外の部分と、それから協議会のコミュニティスクールの部分で、時間的には当然同じ時間体にはなかなかならないところと、それからあと特別活動時間の中に、この今の地域コミュニティの活動が入ってくるとかという、様々なことが考えられますよね。ただそのときに、先生方が入らなければ土曜日、日曜日とかでもできるわけですね。コミュニティの協議会の方はね。そういった形で子どもたちがいっぱい活動して、学校教育、或いは教育全体の子どもたちに対するものが入っていくと、すばらしいっていうことになるのではないかと思います。

【教育長】

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

【全委員】

(質疑なし)

【教育長】

それでは、生涯学習課よりお願いいたします。

【生涯学習課長】

生涯学習課関係の事業の報告について。
スポーツ振興関係の報告について。

【教育長】

生涯学習館からの報告につきまして、何かございますでしょうか。

【全委員】

(質疑なし)

【教育長】

ありがとうございます。

それでは、一般報告を終了させていただきます。

12. 事務連絡

【教育長】

日程第8、事務連絡を事務局よりお願いいたします。

【事務局】

2月定例会は2月9日、月曜日、午後3時30分から学校給食センターで開催する。

13. 閉会の挨拶

【江刺教育長職務代理者】

14. 閉会

午前10時55分

令和8年2月9日

署名委員

署名委員
